

11月の衛研検査情報

～トピックス～

残留農薬検査（平成27年度 その2）

微量汚染物担当では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成27年8月および9月に健康福祉局食品専門監視班および各区福祉保健センターより搬入された農産物について検査を行いました。

主な結果 市内産農産物31検体について検査を行ったところ、7検体から10種類13項目の農薬が検出されました。市内産を除く国内産農産物3検体については、1検体から1種類1項目の農薬が検出されました。いずれも、残留農薬の基準値を超えるものではありませんでした。

アレルギー物質を含む食品の検査結果

アレルギーの原因となることが知られている食品のうち、7品目（卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに）が特定原材料として指定されています。今回は、平成27年3月～9月に健康福祉局食品専門監視班および各区福祉保健センターが、市内の食品製造施設や保育園、小学校などから収去した食品や特定原材料除去食について、卵、えび・かに、乳の検査を行いました。

主な結果 《卵》原材料に卵を使用していない食品や卵除去給食など37検体について検査を行ったところ、焼菓子の生地1検体が陽性でした。また、この生地を用いて製造した製品は陰性でした。この製品には、「本品製造ラインでは乳・卵・ピーナッツを使用した製品も製造しています」という注意喚起の表示がありました。

《えび・かに》原材料にえび・かにを使用していない食品など10検体について検査を行ったところ、すべて陰性でした。

《乳》原材料に乳を使用していない食品や乳除去給食など35検体について検査を行ったところ、ホワイトシチュー1検体が陽性でした。これに使用されていた食材についてさらに検査と調査を行ったところ、ベーコンに乳タンパク成分が含まれていました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成27年10月は、エンテロウイルス、インフルエンザワクチン、ぎょう虫（蟻虫）症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は143,880件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。